

# 第4回県立高等学校改革懇談会 『小名浜・いわき海星』

日時：令和2年1月30日（木） 17:30～19:00

場所：いわき海星高等学校 会議室

## 福島県教育委員会

## 前回の主な御意見・御質問

- ① 学科の組み合わせについて、商業科と食品システム科も選択肢の一つとすれば特色あるものになるのではないか。
- ② 特色化について、より具体的で、分かりやすく説明してほしい。
- ③ 教員を減らすことで教育内容が見劣りしないか心配される。
- ④ 30人学級にすれば、4学科で教員の数も維持できるのではないか。
- ⑤ 「協働」の学びでは、どのような目的のために、どのような課題に取り組むのか。

# 本日の進め方

1	統合校の方向性について
2	各科の特徴及び特色ある学びについて
3	開校に向けた準備について

1

統合校の方向性について

# 急激な少子化

## ○ 全県的な中学校卒業見込者数の減少

- ・ 2017年から2028年の間で**約5,300人**の減少

## ○ いわき市の少子化

- ・ 10年間で**624人(20.0%)**の減少

## ○ 両校の定員充足率の状況(直近3年間)

- ・ 小 名 浜 82.5%(66名) → 90.0%(72名) → 91.3%(73名)
- ・ いわき海星 88.1%(141名) → 86.9%(139名) → 86.9%(139名)

**高校改革は喫緊の課題に**

# 統合校の概要

令和3年4月開校予定

定員：1学年5学級（200名）

普通科1学級（40名）

商業科1学級（40名）

水産科3学級（120名）

場所：本校舎：小名浜高校校舎

水産校舎：いわき海星高校校舎

（仮称）

# 統合による学校規模と教員数の変化

**小名浜高校**

定員80名(2学級)

**いわき海星高校**

定員160名(4学級)

**統合**

**小名浜・いわき海星統合校(仮称)**

定員200名(5学級)

統合によって、**これまでよりも学校規模が大きくなる**  
普通科1学級40名、商業科1学級40名、水産科3学級120名  
**「水産科4学科、船員養成認定校、専攻科」の継続**

- ・ 教員数は標準法に基づき、募集定員に応じて決定
- ・ 教科ごとの教員数は、教育課程に応じて調整

標準法：「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」

2

各科の特徴及び特色ある学びについて

# 普通科(1学級)について

普通科には進路希望に応じた2つのコースを設けます

## 「進学コース」の特徴

文系・理系大学進学に対応した科目の展開

※ eポートフォリオを活用した主体的な学習の実践

目指せ！

国公立・私立大学等  
へ進学



## 共通する特徴

- ・ 地域探究活動
- ・ 希望に応じて商業や水産の科目も学べる

## 「教養コース」の特徴

個に応じた丁寧な学習指導

基礎学力の定着  
地域で活躍できる力の育成

目指せ！

地元企業へ就職  
公務員等



※ eポートフォリオ：何をどう学んだのか、どのような成果が得られているのか等の記録と評価をまとめた学習記録データ

# 教育課程単位計画表(案)【普通科】

学科	学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
普通科	1年	国語総合 5					世界史A 4				数学Ⅰ 3			数学A 2		科学と人間生活 2		体育 3		保健 2	芸術 音楽・美術・書道 2		コミュ英Ⅰ 4				家庭総合 2		総探	LHR	
	2年	現代文B 4			現代社会 3			数学Ⅱ 3			生物基礎 3			体育 3		保健 2	芸術 音楽・美術・書道 2		コミュ英Ⅱ 3			英語表現Ⅰ 2		家庭総合 2		社会と情報 2		総探	LHR		
	3年	進学 コース	国語表現 4			日本史A 4			数学Ⅱ 3			数学B 2		化学基礎 3		体育 2		コミュ英Ⅱ 3			英語表現Ⅱ 2		ビジネス実務 3		選択科目		総探	LHR			
			右記の中から1科目選択														数学基礎 2		理科演習 2		水産海洋基礎 2		器楽 2		構成 2		子どもの発達と保育 2				
		教養 コース	国語表現 4			日本史A 4			社会演習 2		数学Ⅱ 3			化学基礎 3		体育 2		コミュ英Ⅱ 3			英語演習等 2		ビジネス実務 3		選択科目		総探	LHR			
			右記の中から1科目選択														数学基礎 2		理科演習 2		水産海洋基礎 2		器楽 2		構成 2		子どもの発達と保育 2				

LHR：ロングホームルーム      総探：総合的な探究の時間      コミュ：コミュニケーション

# 商業科(1学級)について

商業科の特徴

= 商業の3つの分野を総合的に学ぶ

会計分野

ビジネス情報分野

マーケティング分野

各分野の知識・技術を修得  
加えて地域や水産科と連携した学びを検討している

全商簿記検定  
日商簿記検定 他

全商情報処理検定  
ビジネス文書検定

日商販売士検定  
秘書検定(ビジネスナー)

資格を生かした進路実現

高いレベルの資格を生かして  
商業系大学等へ進学

地元企業へ就職



# 教育課程単位計画表(案)【商業科】

学科	学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
商業科	1年	国語総合 2		世界史A 2		数学Ⅰ 3		科学と人間生活 2		体育 2		保健 2	芸術 音楽・美術・書道 2		コミュ英Ⅰ 3		家庭総合 2		ビジネス基礎 3		簿記 3		情報処理 3		総探	L	H	R			
	2年	国語総合 3			現代社会 2		数学Ⅱ 2	生物基礎 2		体育 2		保健 2	コミュ英Ⅱ 2		家庭総合 2	ビジネス実務 4			マーケティング 2	簿記 3		ビジネス情報 4			L	H	R				
	3年	国語表現 3			日本史A 4		数学Ⅱ 3		体育 3			コミュ英Ⅱ 3		課題研究 3		総合実践 2	ビジネス経済 2	財務会計Ⅰ 3		ビジネス情報 2	電子商取引 2	L	H	R							

LHR：ロングホームルーム

総探：総合的な探究の時間

コミュ：コミュニケーション

# 水産科（本科3学級）について

3学級（120名）の中で4学科を設置

1学級の中で2つの学科！

**海洋科**

定員20名

海洋の知識・技術を総合的に学習

**情報通信科**

定員20名

電気・通信・情報の知識・技術を学習

**食品システム科**

定員40名

食品の製造・加工・流通に関する知識・技術を学習

**海洋工学科**

定員40名

船舶や陸上の機械の操作や管理の知識・技術を学習

「特徴」＝このような資格が取れます！！

**五級海技士(航海)**

2級小型船舶操縦

1級海上特殊無線

**三級総合無線通信士**

2級小型船舶操縦

1級海上特殊無線

食品技能検定

HACCP基本技能検定

日商簿記検定

**五級海技士(機関)**

移動式クレーン運転士

フォークリフト運転技能講習

# 教育課程単位計画表(案) 【水産科】

学科	学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
海洋科	1年	国語 総合 2	世界 史A 2	数学Ⅰ 3		科学と 人間生活 2		体育 2	保健	芸術 美術 2	コミュ英Ⅰ 3		家庭 基礎 2	水産海洋 基礎 3	海洋情 報技術 2	航海・ 計器 2	船舶 運用 2	総 探	L H R												
	2年	国語 総合 2	現代 社会 3	数学 Ⅱ 2	生物 基礎 2	体育 2	保健	コ 英Ⅱ	課 研	総合実習 6			海 情 技	航海・計器 5		船舶運用 4		L H R													
	3年	国語 表現 2	日本 史A 2	数学 Ⅱ 2	体育 3		コミュ英 Ⅱ 2	課題研究 3		漁業・ 小型船舶 3		航海・計器 5		船舶運用 5		海洋 生物 2	L H R														
情報通信科	1年	国語 総合 2	世界 史A 2	数学Ⅰ 3		科学と 人間生活 2		体育 2	保健	芸術 美術 2	コミュ英Ⅰ 3		家庭 基礎 2	水産海洋 基礎 3	海洋情 報技術 2	電気理論 3	海 通 技	総 探	L H R												
	2年	国語 総合 2	現代 社会 3	数学Ⅱ 3	物理基礎 3		体育 2	保健	コミュ英 Ⅱ 2	課 研	総合 実習 2	海 情 技	電気理論 3	移動体 通信工学 3	海洋通信技術 4		L H R														
	3年	国語 表現 2	日本 史A 2	数学Ⅱ 3	体育 3		コミュ英Ⅱ 3		課題研究 3		総合実習 3		海洋 情技 2	電気 理論 2	移動 通工 2	海洋通信技術 4		L H R													

L H R : ロングホームルーム      総探 : 総合的な探究の時間      コミュ : コミュニケーション

# 教育課程単位計画表(案) 【水産科】

学科	学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
食品システム科	1年	国語総合 2	世界史A 2	数学Ⅰ 3	科学と人間生活 2		体育 2	保健	芸術美術 2	コミュ英Ⅰ 3	家庭基礎 2	水産海洋基礎 3	海洋情報技術 2	食品製造 4	総探	L	H	R															
	2年	国語総合 2	現代社会 3	数学Ⅱ 2	化学基礎 2	体育 2	保健	コミュ英Ⅱ 2	課題研究 3	総合実習 3	海洋情報技術 2	食品製造 3	食品管理 5																				
	3年	国語表現 2	日本史A 2	数学Ⅱ 2	体育 3		コミュ英Ⅱ 2	課題研究 6			総合実習 2	食品製造 2	食品管理 5	水産流通 3																			
海洋工学科	1年	国語総合 2	世界史A 2	数学Ⅰ 3	科学と人間生活 2		体育 2	保健	芸術美術 2	コミュ英Ⅰ 3	家庭基礎 2	水産海洋基礎 3	海洋情報技術 2	船用機関 2	機械設工 2	総探	L	H	R														
	2年	国語総合 2	現代社会 3	数学Ⅱ 2	物理基礎 2	体育 2	保健	コ英Ⅱ	総合実習 8			海洋情報技術 2	船用機関 3	機械設工 2	電気理論 2																		
	3年	国語表現 2	日本史A 2	数学Ⅱ 2	体育 3		コミュ英Ⅱ 2	課題研究 3	総合実習 2	船用機関 6			機械設計工作 4	電気理論 3																			

LHR：ロングホームルーム      総探：総合的な探究の時間      コミュ：コミュニケーション

# 水産科（専攻科）について



統合後も3つの専攻科は継続します！

より専門性の高い、高度な資格取得のために

## ・海洋科

乗船実習 1年次: 1年

2年次: 3ヶ月

高等学校海洋系課程  
の卒業者を対象

漁業や海運に関する  
専門性の高い学習

**三級海技士(航海)**

## ・無線通信科

乗船実習 なし



高等学校等の卒業者  
を対象

海上・陸上無線に関する  
専門性の高い学習

**一級総合無線通信士**

## ・機関科

乗船実習 1年次: 9ヶ月

2年次: 6ヶ月

高等学校機関係課程  
の卒業者を対象

動力機関や電気に関する  
専門性の高い学習

**三級海技士(機関)**

# 特色化① ～ 学校全体の活動として ～ (案)

コミュニケーション力  
情報発信力の強化を目指した活動

・英語を使ったプレゼンテーション活動

英語力のアップと発信力の向上



・コンピュータを使った英検

英語の聞く、読む、話す、書くこと全ての

英語力の向上を目指す

(英語力向上の動機付け)



生徒が地域に出て行って、地域を  
学びのフィールドとした探究活動

・地域や学校の特色に応じた課題を見  
つけ出し、その解決に取り組む活動

普通科・商業科・水産科の**枠にこだわ  
らずに**一緒に、協力しながら、学習に向  
かう力を育成する



・発表活動の実施

見つけ出した課題に対して、集めた情  
報を**整理・分析**して**まとめ**て、**発表**する  
ことで思考力、判断力、表現力培う

## 特色化② ～ 教科や学科間での連携 ～ (案)

各教科で学んだ知識を生かして1つのテーマについて理解を深める学習

◎ 命の尊重 (防災に関する学び：1年次総探の時間)

- ・ 地域防災や事故防止など (災害に遭った福島だからこその取組)

◎ 海洋・環境・食をテーマに

- ・ 水産科や理科、家庭科の協働した学び (各教科で学んだ知識を働かせて)

◎ 伝統文化の**継承**による地域貢献 ・ **武城太鼓、じゃんがら念仏踊り** など

これまでのよい取組を

しっかりと継承・発展させる!

地域イベントへの参画



## 特色化② ～ 教科や学科間での連携 ～ (案)

### 普通科、商業科、水産科の連携した学び

#### ◎ 学びの交流デー開催（総探の時間 など）

- ・ 普通科、商業科の生徒が水産科の学びを、水産科の生徒が普通科・商業科の学びを体験する。



#### ◎ 海の幸などを地元企業などと協力して商品開発し、流通させる学びの実践

- ・ **6次化に対応した学び**(商業と水産)

#### ◎ 興味関心に応じて、他の学科の科目や各種検定試験などの資格取得について学ぶことができる

- ・ 商業科、水産科に**共通の選択科目**設定
- ・ **簿記**や**情報処理**、**危険物**などの各種検定試験への挑戦

# 2つの校舎を利用する充実した教育環境

## 本校舎（小名浜高校校舎）

- ・統合による生徒増に対応した教育環境の整備を実施。

### 【整備に向けた検討項目】

- ・生徒駐輪場の増設
- ・HR教室へのエアコン整備
- ・防球ネット設置
- ・屋上防水、照明器具改修

## 水産校舎（いわき海星高校校舎） （仮称）

- ・専門の学びのために、必要な整備を実施。
- ・創水寮、体育施設も継続して活用。

### 【整備に向けた検討項目】

- ・船体模型（船体中央部・船尾構造模型）
- ・実習棟用屋外トイレ新設
- ・校舎の大規模改修（サッシ、外壁、屋上等）

# 水産科生徒の校舎利用の例

海洋科 1年：水産科9単位（週9時間） 普通科21単位

使用校舎／曜日	月	火	水	木	金
本校舎 3日	普通6時間		普通6時間		普通6時間
海星校舎 2日		普通1時間 水産5時間		普通2時間 水産4時間	

2年：水産科17単位（週17時間） 普通科13単位

使用校舎／曜日	月	火	水	木	金
本校舎 2日	普通6時間		普通6時間		
海星校舎 3日		普通1時間 水産5時間		水産6時間	水産6時間

3年：水産科18単位（週18時間） 普通科12単位

使用校舎／曜日	月	火	水	木	金
本校舎 2日	普通6時間		普通6時間		
海星校舎 3日		水産6時間		水産6時間	水産6時間

専攻科 ホームルーム教室は水産校舎にあり、基本的な学校生活は水産校舎で過ごす。  
文化祭や体育祭などの行事の際には本校舎に教室を準備する。

3

開校に向けた準備について

# 教育内容検討委員会及びワーキンググループにおける 開校準備スケジュール

2019(R 1)年度												2020(R 2)年度												2021(R 3)年度
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
教育方針・教育目標				特色化・教育課程																				
				校歌・校章等																				
校名の検討				1/17 統合高等学校校説明会 中学2年生等対象																				
志願してほしい生徒像				新・入学者選抜制度実施																				
				統合校案内の作成・配布																				
				統合校体験入学実施																				
				生徒交流会の実施																				
				高校説明会																				
				開校式準備																				
				統合校入学者選抜																				
				統合校開校式入学式																				

# 校名検討の流れ

